

令和4年度(2022)

公益財団法人出雲市芸術文化振興財団

事業報告

目 次

I	概況	1
II	公益目的事業	2
1.	芸術文化振興事業	2
(1)	出雲総合芸術文化祭事業	2
(2)	出雲芸術アカデミー事業	6
(3)	出雲メセナ協会事務局に関する事務	9
2.	博物館事業（出雲文化伝承館、平田本陣記念館）	10
(1)	展示事業	10
(2)	出雲和文化交流会事業	17
(3)	郷土資料調査活用事業	18
(4)	呈茶事業	19
(5)	文化財保存公開事業	19
(6)	その他 共催事業等	21
3.	貸館事業	23
(1)	概況	23
(2)	出雲市民会館	24
(3)	ビッグハート出雲	25
(4)	平田文化館	25
(5)	大社文化プレイスうらら館	26
(6)	出雲文化伝承館	26
(7)	平田本陣記念館	27
(8)	貸館事業資料(館別)	30
III	収益事業	35
1.	貸館事業	35
2.	その他事業	35
(1)	物販事業	35
(2)	大社図書館管理事業	35
IV	理事会及び評議員会の開催状況	36
V	組織図	39

令和4年度(2022)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業報告

I 概況

出雲市芸術文化振興財団は、平成25年4月1日に公益財団法人となって以来10年目に入り、芸術文化の振興を目的として公益事業の推進に一層取り組むとともに、法人改革の狙いの一つである「民による公益の増進」を根底に据え、芸術文化振興事業や、博物館事業において、また、文化施設の貸館事業においてそれぞれ着実にその成果を残してきました。

新型コロナウイルス感染症は、令和元年度末から多方面に深刻な打撃を与え、当財団の各施設においても利用者、利用料金収入ともに大幅に減少していましたが、令和4年度においては、その影響は縮小してまいりました。

感染症防止対策においても、引き続き手指消毒液の設置や施設内の換気を行うとともに、密集回避や会話抑制などの注意喚起と協力要請に努めましたが、令和4年度には、段階的に国等の方針が見直しされ、受付での検温やアクリル板設置の推奨が必須でなくなり、イベント時の収容率やマスクの着用についても緩和されました。

芸術文化振興事業では、徹底した感染症対策を行いながら、出雲総合芸術文化祭事業として、「オペラシアターこんにゃく座 オペラ“森は生きている”」や「スーパー神楽2022」などを開催しました。

出雲芸術アカデミーでは、年度当初に受講生等が新型コロナウイルス感染症に罹患したため活動ができない時期もありましたが、段階的に講座を再開して人材の育成に努め、出雲フィルハーモニーのコンサートを開催するなど、「音楽のまち 出雲」の一翼を担うことができました。

また、博物館事業においても、感染症対策を行いながら、出雲文化伝承館、平田本陣記念館それぞれの持ち味を生かし、展示事業などを行いました。そのうち出雲文化伝承館では「ふわふわシナモロール展」などを、平田本陣記念館では「はしもとみお展」などを開催し、事業の充実に努めてまいりました。

他方、施設管理業務においては、出雲市文化施設の指定管理者として出雲市民会館、ビッグハート出雲、平田文化館及び大社文化プレイスうらら館の4つのホール系施設、出雲文化伝承館及び平田本陣記念館の2つの展示系施設、合わせて6施設と、別に大社

図書館の施設管理を受託し、適切に管理運営を行いました。

貸館事業では、コロナ禍前（令和元年度実績）程度に利用回数及び利用料金収入は回復しましたが、人数を制限しての利用も多く、利用人数は7割程度となりました。

また、施設管理規程（管理マニュアル）に基づき、利用者・来館者に公平丁寧に対応するとともに、施設利用料の減免制度を当財団のホームページに具体的に掲載するなど、利便性向上に努めました。令和3年度に出雲市に大幅に拡充していただいた所管6施設の利用者向けインターネット利用環境により、出雲市発の文化・情報発信拠点としての役割も果たすことができました。

新型コロナウイルス感染症は次第に収束に向かいつつある中、コロナ禍後の新たなステージを見据え、施設の利用者及び地域のニーズに柔軟に応え、引き続き出雲市における市民の文化的で健康な生活の享受及び市の発展に寄与する役割に徹してまいります。

Ⅱ 公益目的事業

1. 芸術文化振興事業

(1) 出雲総合芸術文化祭事業

出雲総合芸術文化祭事業は、出雲市芸術文化推進指針を基本にして、「本物志向と住民参加」をテーマに、優れた芸術作品や芸術家を招致する鑑賞事業や実行委員会が主体となった自主事業等、幅広く取り組んできました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で事業が中止になることはありませんでしたが、事業内容が縮小されたり、また、これまで延期になっていた官民にわたる各種イベントが秋頃に集中したことで、集客に苦勞する事業もありました。

鑑賞事業のうち、次世代鑑賞者育成事業では、「オペラシアターこんにゃく座オペラ“森は生きている”」を実施しました。人気演目であり、家族だけでなく保育園単位での参加もあり、多くの子どもたちが鑑賞しました。

音楽の分野では、これまで数多くの国家行事及び国際イベントに参加している航空中央音楽隊を招聘し、「航空中央音楽隊コンサート in 出雲」を開催しました。当初、市内中高生50名程度を対象にクリニック（演奏指導）を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で残念ながら中止となりました。

演芸の分野では、3年越しのオファーにより、新進気鋭の講談師として高い人気を得ている「神田伯山 独演会」を開催したところ、チケットがすぐに完売となるほどの盛況ぶりでした。

地元住民等を中心とする実行委員会による自主事業については、「将棋フェスティバル」、「囲碁フェスティバル」、「いずも音楽コンクール」、「いずも新春コンサート」、「出雲神在月市民芸術文化の祭典」等について、感染症対策に努めながらすべて実施することができました。これら自主事業においては、これまでの取組の蓄積を生かしつつ、事業の点検や評価によりさらなる事業効果が発揮されるよう促すとともに、市内文化団体、地域文化活動との連携、協働による優れた芸術文化活動の担い手の育成と芸術文化を通じた地域活性化を図りました。

なお、「出雲オペラ神在ガラコンサート」では、連作交響神楽シリーズ集大成の第6番《國譲》（今年10月実施予定）に参加する県外声楽家を中心に行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で県外者の出演がかなわなかったため、地元声楽家や芸術アカデミーJr. コーラスによる「マタイ受難曲」を実施しました。有名曲でありながらめったに演奏される機会がないことから期待を集め、好評を得ることができました。また、「出雲神話ってなあに？」では、改めて神話や神事に関して知る機会を設け、出雲オリジナルの文化芸術作品である連作交響神楽について広く理解を深めることができました。

また、鑑賞事業の幅を広げることを目的に、「秋川雅史&杜の音シンガーズ」（宝くじ文化公演）、「笑い飯 漫オツアー」（日本海テレビ）、「英国近衛軍楽隊コンサート」及び「ロジェ・ワーグナー合唱コンサート」（関係音楽事務所）の共催事業に取り組みましたが、実施の時期等により集客に大きな差が生じました。

事業の実施に当たっては、多様なメディアを通してタイムリーな情報を発信し、市民の関心を高め参加を促しています。事業後には、市民アンケート等で把握した多角的な意見・ニーズを踏まえたり、外部事業評価者による評価を行い、次年度以降の事業へ反映させています。

このように様々な視点から地域の芸術文化振興に取り組んでおり、今後も引き続き、新しい分野や要素を取り入れながら地域の文化力向上に努める考えです。

① 鑑賞事業

NO	事業名・概要	観客数等	事業費(円)	財源内訳(円)		
				入場料	助成金 雑収入等	負担金
1	オペラシアターこんにゃく座 オペラ「森は生きている」 12月3日(土)、出雲市民会館	入場 895 人	4,829,452	3,144,000	4,850	1,680,602
2	航空中央音楽隊コンサート in 出雲 5月5日(木・祝)、出雲市民会館	入場 873 人	830,784	—	—	830,784
3	神田伯山 独演会 8月6日(土)、平田文化館	入場 678 人	2,943,275	2,781,600	1,658,235	-1,496,560
小計		入場 2,446 人	8,603,511	5,925,600	1,663,085	1,014,826

② 自主事業

NO	事業名・概要	観客数等	事業費(円)	財源内訳(円)		
				入場料 参加料等	助成金 雑収入等	負担金
1	将棋フェスティバル 7月31日(日)、弥生の森博物館	指導対局 20 人 大会 48 人	507,561	40,800	—	466,761
2	出雲囲碁フェスティバル 8月20日(土)、大社うらら館	指導対局 7 人 大会 19 人	333,314	15,600	—	317,714
3	第20回いずも音楽コンクール 11月12日(土)、13日(日) ビッグハート出雲	ピアノ 90 人 弦 9 人 歌唱 13 人	994,715	238,000	—	756,715
4	第21回いずも新春コンサート 1月8日(日)、ビッグハート出雲	入場 150 人	524,096	167,300	—	356,796
5	出雲神在ガラコンサート 10月30日(日)、ビッグハート出雲	入場 236 人	1,496,432	356,500	680,000	459,932
6	神話ってなあに 12月3日(土)、大社うらら館	入場 110 人	593,711	16,800	199,000	377,911
7	スーパー神楽 2022 1月15日(日)、出雲市民会館	入場 918 人	6,133,706	3,227,000	26,706	2,880,000
小計		参加・入場 1,620 人	10,583,535	4,062,000	905,706	5,615,829

③ 共催事業

NO	事業名・概要	観客数等	事業費(円)	財源内訳(円)		
				入場料 参加料等	助成金 雑収入等	負担金
1	NHK 公開収録 おかあさんといっしょ 9月10日(土)、大社うらら館	入場 868 人	302,515	—	—	302,515
2	宝くじ文化公演 秋川雅史&杜の音シンガーズ 1月28日(土)、大社うらら館	入場 453 人	1,312,338	1,019,500	—	292,838
3	笑い飯漫オツアー 9月24日(土)、出雲市民会館	入場 1,152 人	469,261	—	—	469,261
4	英国近衛軍楽隊コンサート 11月26日(土)、出雲市民会館	入場 463 人	554,778	—	—	554,778
5	ロジェワーグナー合唱団 12月6日(火)、出雲市民会館	入場 202 人	451,235	—	—	451,235
6	第18回サウンドフェスタ 大心路 2月5日(日)、ビッグハート出雲	入場 150 人	301,422	—	—	301,422
7	第13回 出雲神在月市民芸術文化の 祭典 10月16日(日)、スサノオホール	入場 503 人	1,501,002	—	—	1,501,002
8	出雲邦楽邦舞の会記念事業 12月19日(日)、出雲市民会館	入場 500 人	—	—	—	—
9	女流名人戦 1月22日(日)、出雲文化伝承館	入場 50 人	153,939	—	—	153,939
10	日本博「出雲の神楽」 1月29日(日)、大社うらら館	入場 600 人 (1部 450 人) (2部 150 人)	355,764	—	359,280	-3,516
小 計		入場 4,941 人	5,402,254	1,019,500	359,280	4,023,474
全体管理費(出雲総合芸術文化祭全体管理経費)			3,053,688	—	202,176	2,851,512
次年度準備			458,878	—	—	458,878
合 計		入場 9,007 人	28,101,866	11,007,100	3,130,247	13,964,519

(2) 出雲芸術アカデミー事業

出雲芸術アカデミーは、「音楽のまち出雲」の推進に向け、講座運営、演奏会活動、アウトリーチ活動等に取り組みましたが、令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で、講座の一時休止や、受講生をはじめとする多くの関係者への感染防止対策の実施など、事業運営に大きな困難が生じました。

講座運営については、年度当初において、受講生等が新型コロナウイルス感染症に罹患したことから、保健所の指示の下で感染者把握に努めるとともに、半月程度休講としました。再開に当たっては、マンツーマン、少人数、パート練習、様子を見て全体練習へと、段階を踏んで実施していきました。

演奏会活動については、当初4月に予定していた「第16回ファミリーコンサート」を5月に延期することで、無事、受講生の1年間の成果を発表することができました。

9月に開催した「出雲フィルハーモニー交響楽団第25回定期演奏会」では、初めての企画として、オーディションで選抜した地元出身の若手音楽家7名をソリストに迎え、また、オーケストラには出雲芸術アカデミー音楽院修了生等も加わることで、地元における多彩な人材の活用と「音楽院」活動の成果を紹介しました。

普及啓発事業については、市内保育所、幼稚園、小中学校等に出向いて演奏するアウトリーチ活動を実施しました。当初23施設を訪問する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、20施設の実施にとどまりました。

また、アウトリーチの訪問先からの来場者をはじめ、毎回多くの集客がある「春まちコンサート」では、ドイツで活躍しているヴァイオリニスト高畑壮平氏をコンサートマスターに迎え、「ヨーロッパからの風」と題して、今回も多くの観客に楽しんでいただきました。

年度末には、過去、東広島市くららジュニアオーケストラ等と行ってきた Jr. フィル交流演奏会を、出雲市と同じ「音楽のまち」として音楽活動が盛んである川本町において、島根中央高校吹奏楽部と合同で行いました。

また、コロナ禍のなかでも音楽に触れる機会を作るため、令和3年度から始めたLPレコード音楽サロンは、令和4年度からはうらら館でも実施したところ、音質等よりよい環境のなかで参加者が増えました。

新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが、季節性インフルエンザと同じ「5類」

に移行することで、当該感染症への対応が新たな段階に入りますが、この数年にわたったダメージの回復にはもう少し時間がかかりそうです。

改めて、芸術アカデミーでは、演奏活動・人材育成活動・学術研究活動が一体となった魅力的な事業を展開し、地域に根ざした芸術文化の振興に取り組んでまいります。

① 講座

科・コース名 講 座 名	対 象	受講者数	回 数 (年間)	受講料 (月額)
幼児科	幼児と保護者	106人(53組)		
うたあそび	2～5歳児と保護者	60人(30組)	20回	2,000円
うたなかま	4～5歳児と保護者	46人(23組)	20回	2,000円
本科 音楽入門/合唱/オーケストラ		88人		
キッズ・アンサンブル	小1～3	4人	44回	2,500円
キッズ・コーラス	小1～3	6人	44回	2,500円
ジュニア・コーラス	小4～高2	16人	44回	2,500円
オーケストラ	小1～高2	62人		
弦楽器入門	初心者	9人	44回	5,000円
オーケストラ	経験者	53人	44回	3,500円
別科 合唱/オペラ/オーケストラ/邦楽		115人		
コーラス・レパートリー	18歳以上	50人	32回	2,500円
アケイング・クワイア		22人	24回	2,000円
オーケストラ・レパートリー		30人	24回	3,000円
邦楽合奏		13人	12回	1,500円
3科合計		309人		
特別講座		3人		
ボーイズクワイア U-28		3人	24回	500円
音楽研究院		43人		
基礎研究 声楽		4人	24回	2,000円
基礎研究 器楽		15人	24回	2,000円
主位研究		24人	1回	1,000円
受講者合計		355人		

② 演奏会等

NO	事業名・概要	観客数等	事業費 (円)	財源内訳 (円)		
				入場料・ 参加料等	助成金・ 支援金等	市負担金・ 自主財源
1	第16回ファミリーコンサート 会場:平田文化館 開催日:5月7日(土)、8日(日) ※コロナ感染症拡大防止のため4月の開催予定を延期とした。	7日:100人 8日:300人 入場計 400人	1,603,858	268,000	587,000	748,858
2	出雲フィルハーモニー交響楽団 第25回定期演奏会・オーケストラセミナー2022 会場:市民会館 開催日:9月19日(月・祝) ※セミナー:17日(金) ~19日(月・祝)	入場 428人	4,150,686	786,540	1,257,000	2,107,146
3	出雲 Jr. フィル 音楽のまち川本&出雲「スペシャルコンサート」 会場:悠邑ふるさと会館 開催日:3月26日(日)	参加 109人 入場 212人	2,815,478	497,000	918,478	1,400,000
4	アウトリーチ 〈音楽&音楽家の出前2022〉 会場:小学校、教育支援センター等 開催日:10月~1月(出雲フィル・チェンバーオーケストラに所属する演奏家による演奏を市内の20施設で実施。3施設はコロナのため中止)	参加 1,351人	957,976	—	225,760	732,216
5	アウトリーチ・コンサート (福来たる!出雲フィルハーモニー 夢いっぱい♪春まちコンサートシリーズ) 出雲フィルハーモニー・チェンバー オーケストラ「ニューイヤーコンサート2023~ヨーロッパからの風」 会場:出雲市民会館 開催日:2月11日(月・祝)	参加 26人 入場 482人	1,877,725	379,680	438,240	1,059,805
6	LPレコード音楽サロン 寄贈されたLPレコードを有効活用し、観賞会形式で広く市民に音楽に親しんでもらった。(3回開催)	参加 76人	33,980	29,000	—	4,980
計		参加 1,562人 入場 1,522人	11,439,703	1,960,220	3,426,478	6,053,005



アウトリーチ出前講座



LPレコード音楽サロン

(3) 出雲メセナ協会事務局に関する事務

出雲メセナ協会の事務局として、文化団体への財政支援事業、市内の小学校への芸術家派遣事業等を実施しました。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響が縮小し、財政支援事業は9事業(令和3年度・4事業、令和2年度・3事業)、芸術家派遣事業は、6校(令和3年度・5校、令和2年度・2校)に回復してきました。

しかしながら、予定していた出雲メセナ協会設立25周年記念事業については、各種イベントの開催状況は新型コロナウイルス感染症拡大前に戻ってきているとはいえ、集客状況は引き続き不安定であり、リスクが高いため中止となりました。

当財団と共催で実施した、「神田伯山独演会」、「英国女王陛下の近衛軍楽隊コンサート」、「オペラシアターこんにやく座“森は生きている”」では、合わせて360人の会員の鑑賞がありました。また、新型コロナウイルス感染症のまん延で令和3年から延期になっていた「スーパー神楽」も開催されました。

令和4年12月末現在で210会員(517口)で、去年同期に比べ会員は6会員の減、口数は6口の減となりました。一時期に比べ退会・減口は少なくなっていますが、減少傾向であることには変わりなく、今後新しいチラシも作り、会員の増加に向けて働きかけてまいります。



2. 博物館事業（出雲文化伝承館・平田本陣記念館）

出雲文化伝承館と平田本陣記念館の博物館事業では（1）展示事業、（2）出雲和文化交流会事業、（3）郷土資料調査活用事業、（4）呈茶事業、（5）文化財保存公開事業を行いました。両館ではコロナ禍においても市民、来館者の皆様に日本や出雲の優れた芸術文化、歴史等を紹介し、あわせて郷土の魅力を再認識いただくことを目標に事業を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響は次第に少なくなりましたが、依然高齢者の外出控えの影響はありました。

展示事業では、伝承館では6つの展覧会を開催し、特に「ふわふわシナモロール展」では、ツイッターで人気が拡散するなど若い家族連れの観覧者が多く賑わいました。本陣記念館では4つの展覧会を開催し、「はしもとみお展」では家族連れが多く、「一条ゆかり展」では当時を懐かしむ熱心なファンの観覧者がありました。両館ともコロナ禍での事業実施のためフェイスブックなどのSNSを活用し情報発信に努めました。

また、伝承館の出雲和文化交流会事業では、子ども対象の和 문화体験教室を開催しました。募集開始直後には定員に達するなど好評でした。

呈茶事業では、伝承館の「ふわふわシナモロール展」の会期中はオリジナルのお菓子を提供し、多くの利用者がありました。

文化財保存公開事業では、2館の施設について館長、学芸員等が説明を行いました。

【出雲文化伝承館 入館者数】

年度	開館日数	入館者数
令和3年度	312日	68,051人
令和4年度	313日	80,567人

【平田本陣記念館 入館者数】

年度	開館日数	入館者数
令和3年度	307日	14,911人
令和4年度	304日	18,514人

（1）展示事業

伝承館では展覧会を6回、本陣記念館では4回、博物館ガイドラインにより新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら開催しました。

伝承館では、「出雲の漆と金工の世界」、「シルクロードの詩 鳥屋尾敬展」、「ふわふわシナモロール展」、「石鼎と出雲の俳人たち」、「人物からわかる出雲の歴史」、「華麗なる日本画コレクションー新見美術館名品展ー」（令和5年度継続事業）を開催しました。

本陣記念館では、「はしもとみお展ーいきものたちの言葉ー」、「一条ゆかり展」、「出

雲の偉人たちー平田、斐川を中心にー」、「華麗なる日本画コレクションー新見美術館名品展ー」（令和5年度継続事業）を開催しました。

新型コロナウイルスの感染拡大から3年目となりましたが、来館者は令和3年度より増加しました。またキャッシュレス決済など、非接触型の決済方法を導入して感染リスクの軽減に努めました。

また、来館者の意見やニーズを把握して事業に反映するため、アンケート（伝承館501枚、本陣記念館765枚）への協力を積極的に促しました。またSNSなどオンラインでの情報発信を活発化させ、展覧会や展示作品の解説のほか、館内の四季の移り変わりを紹介するなど、施設や事業の魅力の発信に努めました。

展覧会の内容は、郷土関係、日本の優れた美術工芸、ポップカルチャーなど多岐にわたります。引き続き出雲ゆかりの美術工芸、歴史文化等の資料調査と研究を進めながら、多彩な展覧会を企画するよう努めます。

今後、博物館事業のミッションと収益のバランスをはかりながら、事業の集中と精選、関連事業の工夫などに努め、コロナ禍後の魅力ある展示事業に取り組みます。

【伝承館 SNS 投稿数・フォロワー数（令和5年3月31日時点）】

区分	Facebook	Twitter	Instagram	YouTube
令和3年度（投稿数）	393	271	149	0
（フォロワー数）	1,039	1,024	436	12
令和4年度（投稿数）	107	180	169	0
（フォロワー数）	14	1,629	564	10

※Facebookは8月7日にアカウントを再取得

【本陣記念館 SNS 投稿数・フォロワー数（令和5年3月31日時点）】

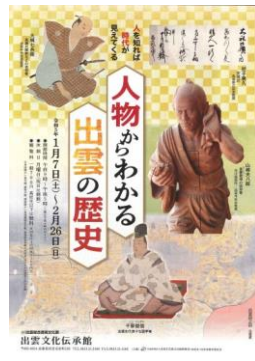
区分	Facebook	Twitter	Instagram	YouTube
令和3年度（投稿数）	92	254	176	6
（フォロワー数）	360	56	249	35
令和4年度（投稿数）	80	91	78	0
（フォロワー数）	508	106	315	43

【伝承館】

展覧会名 展示内容・関連事業等	会期	観覧者数	観覧料	観覧料収入
開館 30 周年記念 出雲の漆と金工の世界 出雲地方では松平不昧の指導で、絵師や工芸職人らが育ち、多くの優品を製作してきた。現在でも漆工の漆壺斎や勝軍木庵は全国的にも高い評価を得ている。本展では、出雲地方の漆芸と金工の優品 126 点を展示。	4 月 1 日～ 5 月 8 日 公開 35 日 令和 3 年度 3/19～3/31 公開 12 日間	612 人 令和 3 年度 190 人	一般 800 円 高校生以下 無料	280,100 円
・ギャラリートーク 当館館長、学芸員	4/10、5/1	(38 人)		
※掛軸の取り扱い方教室 当館学芸員	4/9、30	(12 人)		
シルクロードの詩 鳥屋尾敬展 出雲市在住の洋画家、鳥屋尾敬氏のライフワークであるシルクロードを題材とした大作を中心に展示して、40 年にわたる画業を紹介した。あわせて文化工房展示室では、同氏の小品展を開催した。	5 月 28 日～ 7 月 3 日 公開 32 日間	869 人	一般 600 円 高校生以下 無料	241,600 円
・オープニングセレモニー	5/28	(55 人)		
・ギャラリートーク 鳥屋尾敬 氏	5/28、29 6/4、5、11、12	(101 人)		
※出雲流庭園講座 島根県技術士会	6/12 6/19	(15 人) (13 人)		
ふわふわシナモロール展 サンリオの人気キャラクター、シナモンは、デビュー 20 周年を迎え、子どもから大人まで幅広い年代に愛されている。デザインストーリーや貴重なラフ原画などを展示し、「ふわふわ」をテーマに紹介した。 出雲屋敷に座るシナモンの画像はツイッターで 10.6 万いいね、3.2 万リツイートと大きな話題となった。茶室でのシナモロール展限定メニューも好評だった。	7 月 14 日～ 8 月 28 日 公開 41 日間	8,762 人	一般 1,000 円 小中高生 500 円	6,729,450 円
・スペシャルトーク サンリオとシナモロールカワイイ秘話 高桑秀樹氏 (株式会社サンリオ)	7/20 2 回	(38 人)		
・素焼きアート！ 世界にひとつ！自分だけのシナモンを作ろう♪	7/16～8/28 土日祝各日 計 16 回	528 人		

没後 70 年 石鼎と出雲の俳人たち 現出雲市塩冶町に生まれ、大正時代に 全国で注目された俳人、原石鼎の没後 70 年にあたり、郷土が誇る石鼎の自 筆俳句や俳画を展示した。あわせて郷 土ゆかりの俳人たちを紹介。198 点を 展示。	10 月 8 日～ 11 月 27 日 公開 45 日間	705 人	一般 800 円 高校生以下 無料	295,200 円
・ギャラリートーク 当館学芸員	10/8,22 11/5,19	(41 人)		
・はじめての俳句づくり 出雲屋敷で俳句を詠もう！ 手銭誠氏ほか	11/12	(16 人)		
※お屋敷でクラシック 和文化と西洋音楽とのコラボレーション 福田悠子氏、長岡知穂氏ほか	10/9	(34 人)		
人物からわかる出雲の歴史 今日の出雲地方の発展を支えた先人 たちの事績を中心に、約 100 点の資料 により郷土の歴史と文化を振り返った。	1 月 7 日～ 2 月 26 日 公開 45 日間	445 人	一般 700 円 高校生以下 無料	178,550 円
・ギャラリートーク 当館学芸員	1/9,28 2/4,18,26	(44 人)		
※掛軸の取り扱い方教室 当館学芸員	1/29	(5 人)		
・歴史講座 「出雲大社と門前町の歴史文化」 山崎裕二氏（公益財団法人いづも 財団事務局長）	2/12	28 人		
※苔リウム教室 玉木麻美氏（and Green マネージャー）	2/25	(20 人)		
華麗なる日本画コレクション —新見美術館名品展— 全国有数の日本画コレクションを有 する新見美術館の所蔵作品から、日本 最後の文人画家、富岡鉄斎を中心に、 横山大観、小野竹喬ら歴史に名を刻む 巨匠の作品 34 点を展示。本陣記念館 と同時開催。	3 月 18 日～ 3 月 31 日 公開 12 日間 令和 5 年度 継続事業	518 人	一般 700 円 高校生以下 無料	240,700 円
小 計	210 日	12,467 人		
その他事業収入（図録、関連事業参加費）				296,030 円
雑収入（物販販売手数料等）				2,056,180 円
合計 （出雲市負担金以外の収入）				10,317,810 円

（ ）は観覧者に含む ※は自主事業



○出雲文化工房 展示室（無料）

展示名	日数	観覧者数
つるし飾りと竹あかり 4月1日～3日 (3月25日～)	3日	988人
鳥屋尾敬小品展 5月28日～7月3日	32日	869人
平野勲展 4月～5月・9月～1月 ふるさとの祭り 出雲國神傳絵巻 塩冶太平記絵巻 その他	229日	20,995人
山光会小品展 2月3日～2月5日	3日	632人
出雲平野の野鳥たち 2月7日～3月31日	46日	1,511人
合計	313日	24,995人

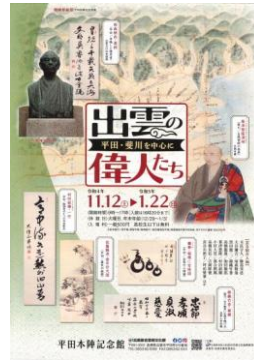
【本陣記念館】

展覧会名 展示内容・関連事業等	会期	観覧者数	観覧料	観覧料収入
はしもとみお展 ーいきものたちの言葉ー はしもとみお氏は、いきものと向かい合い、ありのままの美しい姿を木彫りする肖像彫刻家。本展では愛らしい動物たちの木彫や、スケッチを展示した。	4月1日～ 6月26日 公開75日間 令和3年度 3/4～3/31 公開24日間	5,628人 令和2年度 1,707人	一般 800円 高校生以下 無料	3,320,200円
一条ゆかり展 1968年に『りぼん』でデビューした一条ゆかりは、不良性と野心を持った異色の主人公像で少女漫画の定説を打ち破り人気を博した。代表作「デザイナー」「砂の城」「有閑倶楽部」などの原画を展示した。	7月16日～ 10月16日 公開80日間	3,483人	一般 800円 高校生以下 無料	2,293,100円

出雲の偉人たち ー平田・斐川を中心にー 出雲市では政治、産業、教育、文化などさまざまな分野において数多くの偉人を輩出してきた。本展では平田、斐川地域を中心に、郷土に尽くした先人の足跡を約 80 点の資料で紹介した。	11月12日～ 1月22日 公開 57 日間	668 人	一般 500 円 高校生以下 無料	225,000 円
・ギャラリートーク 当館学芸員	11/20、12/4、18 1/8、22	(49 人)		
※掛軸の取り扱い方教室 当館学芸員	12/11、1/14	(7 人)		
華麗なる日本画コレクション ー新見美術館名品展ー 全国有数の日本画コレクションを有する新見美術館の所蔵作品から、美人画と現代日本画の秀作 25 点を展示。伝承館と同時開催。	3月18日～ 3月31日 公開 12 日間 令和 5 年度 継続事業	126 人	一般 700 円 高校生以下 無料	60,100 円
小 計	224 日	9,905 人		5,898,400 円
雑収入 (物販販売手数料等)				170,136 円
合計 (出雲市負担金以外の収入)				6,068,536 円

()は観覧者に含む ※は自主事業





(2) 出雲和文化交流会事業

出雲和文化交流会（平成 14 年発足）に協力をいただき、伝承館で「出雲こども和
文化体験教室」と「こども和文化クラブ」（通年）を開催し、日本の伝統文化・芸能の普
及と事業の継続に努めました。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2年延期となっていた花柳流師範、花
柳基氏の文化講演会「美しい所作と楽しいトーク」を12月17日に開催し、参加者は
40人でした。本事業の収入は345,690円でした。（負担金以外）

【出雲こども和文化体験教室】

教室名	実施日	講師	参加者数
茶道体験教室	10月16日	三斎流	9人
	11月23日	裏千家	7人
	11月27日	表千家	8人
いけばな体験教室	11月12日	池坊	10人
	12月10日	小原流	10人
箏体験教室	11月6日	出雲邦楽邦舞の会	8人
	11月13日		10人

日本舞踊体験教室	11月3日	出雲邦楽邦舞の会	10人
	11月23日		7人
おやこ香道体験教室	10月30日	香道御家流和草会	8組 16人

【こども和文化クラブ】（同一生徒）

箏教室（1）	4月～2月 10回	出雲邦楽邦舞の会	7人
箏教室（2）	〃	〃	4人
日本舞踊教室	〃	〃	7人



いけばな体験教室



日本舞踊体験教室



おやこ香道体験教室



こども和文化クラブ（箏教室）



文化講演会

「美しい所作と楽しいトーク」

(3) 郷土資料調査活用事業

両館では館蔵資料を活用するため、古文書等の整理を行いました。この成果は「石鼎と出雲の俳人たち」、「人物からわかる出雲の歴史」（伝承館）や「出雲の偉人たち」（本陣記念館）で一部活用しました。なお本陣記念館では、木佐家文書の整理を出雲市文化財課と連携して進めました。

(4) 呈茶事業

伝承館では、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策をとりながら、平常通り呈茶を行いました。特に「ふわふわシナモロール展」の期間中は、オリジナルお菓子&抹茶セットを提供し、好評を博しました。一方、本陣記念館は、令和3年度に引き続き、呈茶事業を中止としました。

(5) 文化財保存公開事業

① 文化財保存公開

出雲文化の伝統を象徴する伝承館の「出雲屋敷」、「出雲流庭園」（出雲市指定文化財）、茶室「松籟亭」、「独楽庵」、また本陣記念館の「御成門・御成座敷」と「出雲流庭園」、茶室「悠々庵」の公開と活用を図っていますが、両館とも開館30年を経過して施設の老朽化が進行しており、年々修繕費が増加しています。館内の建築物や庭園は、一体となった落ち着いたきのある景観を維持する必要があり、大規模な修繕を引き続き市に要望するとともに、より適正な管理と活用に努めます。

② 団体利用

両館とも新型コロナウイルス感染症の影響により団体利用は低調でした。伝承館では高校、専門学校、一般の文化サークル、市内コミュニティセンター、高齢者の団体など出雲屋敷・庭園見学での利用や、研修会等において館長、学芸員などが講師となり、8回154人に講話や説明を行いました。

本陣記念館では、市内小学校3年生社会科の『道具とくらしのうつりかわり』学習での民芸展示室の利用が多数あり、館長が15校(21回)850人へ民具の解説を行いました。



③ 博物館資料の寄贈

近年、郷土の貴重な文化財が破棄処分されたり、散逸したりしています。両館では出雲ゆかりの歴史的資料や美術工芸品などの保護保存に努め、あわせて博物館資料の充実に努めます。

【伝承館 寄贈資料】

- ・油絵 アフリカの古都（フェズ） 杉谷常吉作 1点
- ・油絵 愁風の浜、寺院と集落 大國章夫作 2点
- ・掛軸・短冊 原石鼎ほか俳句作品 61点

【本陣記念館 寄贈資料】

- ・掛軸 雨森精翁 3点
- ・紙芝居 雨森精翁 1点

④ 収蔵資料の貸出・特別利用

収蔵品の貸出や特別利用（熟覧、撮影、画像データ提供等）等を行い、その適正な活用と管理に努めました。

【伝承館 貸出・特別利用】

申請日	利用区分	申請者	資料名等
令和4年4月27日	撮影、その他（講演での紹介）	出雲市文化財課	塩冶秦家文書
令和4年7月1日	撮影、熟覧、その他（拓本・計測）	島根県教育庁文化財課	版木（出雲大社・御師関連）60点
令和4年7月19日	印刷物掲載	株式会社筑摩書房	大社龍蛇神御守護（画像データ）
令和4年7月22日	撮影、熟覧	和歌山県立博物館	横山黄仲祥関連資料 14点
令和4年8月3日	借用、印刷物掲載	諫早市美術・歴史館	白糸緘鎧（復元）、松平不昧像など 47点
令和4年9月7日	撮影、熟覧	出雲弥生の森博物館	神像（小野家旧蔵）10点
令和4年9月28日	印刷物掲載	松江市松江城・史料調査課	宝永山 祥瑞写茶碗（画像データ）
令和4年11月17日	撮影、熟覧	松江歴史館	風外本高作品 5点
令和4年12月28日	借用	松江歴史館	風外本高作品 2点
令和5年1月18日	借用	出雲弥生の森博物館	神像（小野家旧蔵）6点
令和5年2月17日	印刷物掲載	松江市松江城・史料調査課	松平不昧書状 大嶺和尚宛（翻刻文）

※このほか本陣記念館が「出雲の偉人たち」で収蔵品 10点を借用

【本陣記念館 貸出・特別利用】

申請日	利用区分	申請者	資料名等
令和4年5月24日	借用、撮影、熟覧、その他（解説）	出雲市文化財課	本木佐家文書
令和4年5月31日	印刷物掲載	株式会社島根日日新聞社	小村大雲 肖像・虎渡河図（画像データ）
令和4年7月11日	印刷物掲載	松江市松江城・史料調査課	平田本陣記念館外観（画像データ）
令和4年9月15日	撮影、熟覧	島根県立美術館	落合朗風作品 18点
令和4年10月5日	借用	平田コミュニティセンター	雨森精翁書「皇統三千載」
令和4年11月3日	撮影、熟覧	北九州市立自然史・歴史博物館	糸車
令和4年11月17日	撮影、熟覧	松江歴史館	風外本高 三仙女図
令和4年12月13日	借用	松江歴史館	風外本高 三仙女図
令和5年1月12日	借用	平田小学校創立150周年記念事業実行委員会	雨森精翁書「皇統三千載」、「人生多楽事」
令和5年3月13日	印刷物掲載	個人	奥平謙輔書「五言詩」

※このほか伝承館が「人物からわかる出雲の歴史」で所蔵品1点を借用

⑤ 収蔵庫等の燻蒸、管理

両館の収蔵庫、展示室等の燻蒸(伝承館9月、本陣記念館10月・3月)、消毒を行い適正な管理に努めました。また、害虫調査を行い虫害予防に努めました。

(6) その他 共催事業等

① 第31回早春の茶会

早春の茶会の実施に向けて関係流派と11月から打合せを行い、ガイドラインの制定や参加者を例年の半分に制限するなどの対策を施し、3月25日、26日に4年ぶりに開催しました。参加者は2日間で393人でした。久しぶりの茶会で賑わいました。



② 諫早市友好交流都市 出雲市・津山市三市交流展

11月3日から12月18日を会期とする展覧会が、諫早市美術・歴史館を会場に開催され、伝承館からは白糸緞鎧（復元）、神像、筒描藍染など計47点を出品協力しました。伝承館館長が展示指導とギャラリートークを行いました。来館者数2,941人。三市交流展は、これまで平成29年に伝承館、令和2年に津山郷土博物館で開催されました。

③ つるし飾りと竹あかり

出雲つるし飾りの会との共催により、4月1日から3日まで（令和3年度より継続）を会期とし、出雲文化工房で「出雲の春 つるし飾りと竹あかり」を開催しました。入場者は988人でした。

④ 野鳥写真愛好家の写真展

「5GGの集ひ」と仲間たち」との共催により、10月7日から11月30日まで長屋門・ミニギャラリーで「野鳥の写真展」を、令和5年2月7日から3月31日（4月7日まで継続）まで出雲文化工房展示室で写真展「出雲平野の野鳥たち」（19人、40点）を、それぞれ開催しました。出雲文化工房の入場者は1,511人（令和4年度）でした。

3. 貸館事業



(1) 概況

出雲市民会館、ビッグハート出雲、平田文化館、大社文化プレイスうらら館、出雲文化伝承館、平田本陣記念館の6つの文化施設について、出雲市の指定管理者として施設の管理運営を担い、**(8)貸館事業資料**のとおり利用がありました。

管理運営に当たっては、利用者とのコミュニケーションを深めながら施設の特性や地域性を活かした貸出しを提案するなど要望に応え、また、施設設備の老朽化に伴う修繕、改修にも即応しつつ、適切な維持管理に努めてまいりました。

新型コロナウイルス感染症の影響からは回復傾向にあり、令和4年度の貸館事業全体の利用料金収入は100,463千円、前年度比22,802千円、29.4%の増加となりました。また、施設の貸出し状況については、全体で、利用回数合計7,272回、前年度比1,155回、18.9%の増、利用人数合計は226,401人、前年度比47,115人、26.3%の増となりました。

これを感染症の影響が少なかった令和元年度と比較すると、利用人数は7割程度に留まったものの、利用回数(1.2%減)及び利用料金収入(1.7%増)は令和元年度と同程度まで回復しました。

今後も、利用者ニーズの把握に努め、芸術文化事業の公演情報の早期入手や施設の利用方法の提案などのほか、市広報紙、各種情報誌をはじめウェブサイト、SNSなど多様な媒体の活用により情報提供を充実させ、できるだけ多くの皆様に利用していただけるよう取り組みます。

なお、市内の中学校、高等学校の吹奏楽部、合唱部などの利用は活発であり、学校教育の一環としての利用については施設、設備利用料金の5割を減免し、公益財団法人として「音楽のまち出雲」の推進に貢献しているところです。

それぞれの施設の貸出しの状況については、次の(2)以下のとおりですが、「貸館事業」には「公益目的事業」と「収益事業」があり、「公益目的事業」は、芸術文化振興事業及び博物館事業の事業実施舞台として、芸術文化団体等が行う発表会や講演会、練習等に広く一般市民に貸し出し、芸術文化の振興及び伝統文化の伝承に寄与するものであり、「収益事業」は、営利を目的とする大ホール等の利用や物販等の利用のために貸出しするものです。

その割合は、概ね8割が「公益目的事業」、残り2割が「収益事業」に分類され、その収支は次のとおりです。(公益財団法人認定申請における過去の利用実績分析による。)

貸館事業の収支状況

(単位：円)

区 分		収 入	支 出	収支差額
貸館事業	公益目的事業	278,221,363	301,534,510	△23,313,147
	収 益 事 業	81,973,034	71,991,047	9,981,987
	合 計	360,194,397	373,525,557	△13,331,160

(2) 出雲市民会館

出雲市民会館は、県内でも有数の高い専門性を備えた劇場であり、また出雲市のメインホールです。利用状況については、利用人員は令和元年度より少ないものの、利用回数、利用料金とも令和元年度を上回り、新型コロナウイルス感染症の影響から脱却しつつあります。「音楽のまち出雲」にふさわしく、市内の中学校、高等学校の吹奏楽部、合唱部などの発表会や練習の会場として多く利用され、またその他コンサート、演劇、講演会などの利用がありました。

令和4年度における利用状況は、利用者数については、大ホールが69,486人で前年度比23,827人、52.2%の増となり、施設全体では、95,947人となり、同じく25,397人、36.0%の増となりました。

また、利用料金収入は44,854千円で、前年度に比べ11,555千円、34.7%の増収となりました。

(自主事業)

令和4年度の市民会館の自主事業として、企画会社との共催で「特撰！東西落語競演会」を開催しました。市内外の多くの方に人気噺家による豪華競演を鑑賞していただきました。

(3) ビッグハート出雲

ビッグハート出雲は、地域芸術文化活動の拠点として、地元アーティストによるコンサートやダンス発表会などが多数開催されました。また、多様な施設を擁していることから会議、研修会、展示会及び個人の楽器練習まで幅広く利用していただきました。

コロナ禍の施設利用の特徴として、ウェブ配信やリモート会議の利用が定着しつつあり、年間利用回数 306 件、利用全体の 11.3%を占めています。

令和 4 年度施設利用状況は、利用者数については、施設全体が 45,278 人で前年度より 15,242 人、50.7%の増加となりました。使用回数は 2,692 回で前年度より 584 回、27.7%の増加となりました。利用料金収入は、25,442 千円で、前年度に比べ 6,362 千円、33.3%増収となっています。このうち白のホールは、年間利用回数は 163 回で、前年度比 22 回の増、利用料金収入 9,582 千円で、前年度に比べ 1,910 千円、24.9%増となりました。

今後も利用者の意見等を参考に業務改善を重ね、満足していただける利用の促進に努めてまいります。

(自主事業)

ビッグハート出雲文化サロン登録団体による「音と手仕事展」(3月11日、12日)を開催しました。各文化団体が、手工芸品の展示又はミニコンサートで地域芸術文化活動の成果を発表し、市内外から大変多くの方に来場していただきました。

(4) 平田文化館

平田文化館は、雲州平田文化協会及び加盟する 21 団体の活動を支援し、文化館を主会場としたコンサートや発表会、展示会の開催などにより、地域の芸術文化活動の拠点としての役割を果たしてまいりました。このほか、多目的に使用できる施設の特性などを生かして、軽運動や諸会議等にも広く利用いただいています。

令和 4 年度は、ホールの利用について、おおむねコロナ禍前の状況まで回復してきたことなどから、利用回数、人数、利用料金収入ともに前年度を上回りました。一方、令和 3 年度に文化館会議室で実施された新型コロナウイルスワクチンの集団接種が、別会場に変更となったことにより、会議室の利用が大きく減少しました。

その結果、文化館全体では、利用料金収入は 7,344 千円で、前年度比 878 千円、10.7%の減、利用回数は前年度比 28.4%の減、利用者数も同 42.3%の減となりました。

引き続き、基本的な感染予防に努めながら、利用者の意見も取り入れ、利用しやすい環境を整えて利用の促進に努めてまいります。

(5) 大社文化プレイスうらら館

600席のだんだんホール及び200人の収容が可能なごえんホールを有する市内の中規模文化施設として、また、出雲市立大社図書館との複合施設という特徴も活かした地域の文化活動の拠点として、多くの皆様に利用していただきました。

また、各種文化団体で組織する「たいしゃ芸術文化祭実行委員会」を支援し、地域における芸術文化の水準を高め、様々な活動への住民参加を促すよう努めてまいりました。

令和4年度の利用実績は、新型コロナウイルス感染症の影響は続いたものの改善傾向が続き、前年度に比べ利用回数、利用者数ともに増となりました。

利用回数は、だんだんホールが143回で前年比40回の増、全体では972回で215回の増となり、また、利用者数は、だんだんホールが30,235人で前年比16,252人の増、全体では38,813人で前年比16,535人の増となりました。

また、利用料金収入においても17,171千円と前年度より4,668千円の増収となりました。今後も、利用にあたっての意見等を参考に業務改善を重ね、多くの皆様に満足して利用していただけるよう努めてまいります。

(6) 出雲文化伝承館

出雲文化伝承館では、縁結び交流館をはじめ出雲文化工房、出雲屋敷、出雲流庭園、茶室「松籟亭」、茶室「独楽庵」などがあり、それぞれの施設の特徴を生かして、展示会、音楽会、研修会、軽スポーツ、陶芸、写真撮影、茶会など幅広く利用されています。

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響は縮小し、年間を通した利用者数は20,392人で前年度比33.5%の増、貸出回数も13.8%の増となりました。利用料金収入は、5,412千円で前年度比1,018千円、23.2%の増となり、感染症の影響が少なかった令和元年度と比較しても176千円、3.4%の増となりました。

今後も、少しでも多くの方に施設を利用していただけるよう、ホームページやSNS等を活用して積極的に情報発信するとともに、多様な催し物に利用していただくために、施設の特徴を生かした利用方法の提案やより丁寧な説明と接客に努めてまいります。

(自主事業)

一般対象として、掛軸の取り扱い方教室、出雲流庭園講座、お屋敷でクラシック、苔リウム教室の4つの講座をのべ7回開催し、伝統文化の継承や芸術文化の振興を図りました。開催した教室・講座はいずれも感染症対策を行い、参加人数を制限して行いました。のべ99人の参加者がありました。

	講座名	実施日	人数 (人)	参加費 (円)	講師等
1	掛軸の取り扱い 方教室 (1回目)	4月9日	5	300	当館学芸員
2	掛軸の取り扱い 方教室 (2回目)	4月30日	7	300	当館学芸員
3	掛軸の取り扱い 方教室 (3回目)	1月29日	5	300	当館学芸員
4	出雲流庭園講座 (1回目)	6月12日	15	300	島根県技術士会 原 裕二氏
5	出雲流庭園講座 (2回目)	6月19日	13	300	島根県技術士会 林 秀樹氏
6	お屋敷でクラシ ック	10月9日	34	400	出雲芸術アカデミー 音楽院講師
7	苔リウム教室	2月25日	20	2,000	and Green マネージャー 玉木麻美氏
	合 計		99		

参加費 合計	67,100 円
--------	----------



お屋敷でクラシック



出雲流庭園講座

(7) 平田本陣記念館

平田本陣記念館は、本館、展示館、茶室などそれぞれの施設の特色を活かし、作品展や研修会、前撮り写真撮影等に広く利用していただいています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響は続いたものの回復基調にあり、利用者数は、3,142人で前年度比101.7%の増、利用回数同4.3%の増となりました。

利用料収入は、239千円で前年度比77千円、47.1%の増となりました。

また、令和4年度からキャッシュレス決済など、非接触型の決済方法を導入して感染リスクの軽減に努めました。

引き続き、感染予防に努めるとともに、多くの方に施設利用していただくために、ホームページ・フェイスブックやツイッター等を活用し、積極的に情報発信してまいります。また、様々な催し物に使用していただくために丁寧な接客に努めるとともに、出雲流庭園を活用した施設利用方法の創意工夫を図ってまいります。



(自主事業)

① こども教室

普段触れることが少ない伝統文化や芸術文化を楽しく学び、関心を深めることを目的に2つの体験教室を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

② 一般対象講座

掛軸の取り扱い方教室は、初心者向けに実演を交えながら少人数制で開催しました。教室終了後、参加者から有意義な講座であったとの意見をいただきました。

講座名	実施日	人数(人)	参加費(円)	講師等
掛軸の取り扱い方講座	12月11日	3	1,000	博物館事業部学芸員
掛軸の取り扱い方講座	1月14日	4	1,000	博物館事業部学芸員
合計		7		

参加費 合計	7,000円
--------	--------



掛軸の取り扱い方教室

③ 本館展示「ミニギャラリー」

企画展「出雲の偉人たちー平田・斐川を中心にー」展に合わせ、雨森精翁研究啓発活動プロジェクトチーム（代表：多々納鉄雄氏）の協力を得て、平田に家塾「亦楽舎」を開いて多くの後進を育て、平田の学問興隆に尽くした雨森精翁のミニギャラリーを開催しました。（令和4年11月12日～令和5年3月15日）

雨森精翁の事績について、より多くの方に知って頂く機会を提供するとともに当館への誘客につなげました。

また、同プロジェクトチームから、事績解説フリップ（紙芝居）の寄贈を受けました。



雨森精翁研究啓発活動プロジェクトチームから寄贈された事績フリップ（紙芝居）

(8) 貸館事業資料

出雲市民会館

令和4年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

	利用回数(回)			利用人数(人)			利用料金(円)		
	R4年度	R3年度	比較	R4年度	R3年度	比較	R4年度	R3年度	比較
大ホール	198	144	54	69,486	45,659	23,827	26,812,851	18,056,364	8,756,487
楽屋	463	323	140	/	/	/	1,690,106	1,163,072	527,034
展示室	58	49	9	1,657	1,589	68	1,686,018	1,405,318	280,700
202多目的室	182	157	25	2,412	2,986	△ 574	2,080,945	1,949,085	131,860
301会議室	238	206	32	11,471	12,097	△ 626	6,179,519	5,671,757	507,762
302研修室	252	209	43	4,553	4,291	262	2,448,880	2,015,396	433,484
303研修室	98	90	8	265	341	△ 76	476,188	377,625	98,563
304学習室	245	191	54	3,283	2,133	1,150	1,867,538	1,414,453	453,085
305学習室	227	175	52	2,820	1,454	1,366	1,612,109	1,246,042	366,067
合計	1,961	1,544	417	95,947	70,550	25,397	44,854,154	33,299,112	11,555,042

令和4年度大ホール月別催し物開催数

(単位=回)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
会議、大会、講演会他	2	10	6	3	6	2	11	5	2	1	2	2	52	29
発表会 (吹奏楽、合唱他)	1	4	3	2	4	3	8	3	7		8	6	49	41
コンクール (吹奏楽、合唱他)					6						3		9	3
コンサート (歌謡、ポップス、演歌他)		2	2	1			1	2	2		1		11	4
コンサート (クラシック)					2	3		1			2		8	15
伝統芸能、古典、舞踏他							1		3	3			7	3
演劇、ショー、映画		1	3	4		2		1	3		1	1	16	15
練習	2	2		17	9	1			6	5	4		46	34
その他													0	0
合計	5	19	14	27	27	11	21	12	23	9	21	9	198	144
開館日数(日)	29	30	29	30	30	29	30	29	27	27	27	30	347	347
休館日(日)	1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	1	1	18	18
工事等(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働日数(日)	5	18	14	21	21	11	18	12	20	9	16	9	174	137
稼働率	17%	60%	48%	70%	70%	38%	60%	41%	74%	33%	59%	30%	50%	39%

ビッグハート出雲

令和4年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

	利用回数（回）			利用人数（人）			利用料金（円）		
	R4年度	R3年度	比較	R4年度	R3年度	比較	R4年度	R3年度	比較
白のホール	163	141	22	16,597	12,137	4,460	9,581,551	7,671,838	1,909,713
控室	280	215	65				519,730	373,876	145,854
アートギャラリー	53	37	16	2,243	1,175	1,068	1,805,695	1,208,573	597,122
茶のスタジオ	288	225	63	8,837	5,621	3,216	4,250,281	3,198,606	1,051,675
黒のスタジオ	200	106	94	4,475	2,190	2,285	2,676,356	1,564,587	1,111,769
スタッフ控室	198	120	78	1,350	564	786	837,782	453,850	383,932
会議室	315	242	73	3,669	2,114	1,555	2,044,318	1,619,444	424,874
レセプションスペース	196	167	29	3,894	3,245	649	1,512,219	1,315,950	196,269
練習室	592	555	37	882	847	35	528,683	502,746	25,937
文化サロン	240	209	31	2,410	1,783	627	653,857	613,980	39,877
応接室	167	91	76	921	360	561	1,031,767	556,535	475,232
合計	2,692	2,108	584	45,278	30,036	15,242	25,442,239	19,079,985	6,362,254

令和4年度白のホール月別催し物開催数

(単位=回)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
会議、大会、講演会 他	4	2	8	6	6	8	5	7	3	1	0	3	53	39
発表会 (吹奏楽、合唱他)	5	2	3	0	0	0	2	1	8	4	4	6	35	36
コンクール (吹奏楽、合唱他)	0	0	0	0	1	1	0	5	0	0	4	1	12	15
コンサート (歌謡、ポップス、演歌他)	0	0	2	0	0	0	0	1	2	0	1	0	6	3
コンサート (クラシック)	1	1	0	0	1	3	5	1	3	3	2	0	20	13
伝統芸能、古典、舞踏他	0	2	0	0	0	2	0	0	1	0	0	2	7	5
演劇、ショー、映画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5
練習	0	0	0	7	9	3	4	1	2	1	2	0	29	22
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合計	10	7	13	13	17	17	16	16	19	9	13	13	163	141
開館日数(日)	29	30	29	30	30	29	30	29	27	28	27	30	348	348
休館日(日)	1	1	1	1	1	1	1	1	4	3	1	1	17	17
工事等(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
稼働日数(日)	10	7	13	13	16	15	13	16	17	9	10	13	152	135
稼働率	34%	23%	45%	43%	53%	52%	43%	55%	63%	32%	37%	43%	44%	39%

平田文化館

令和4年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

	利用回数(回)			利用人数(人)			利用料金(円)		
	R4年度	R3年度	比較	R4年度	R3年度	比較	R4年度	R3年度	比較
プラタナスホール	96	74	22	13,675	10,291	3,384	4,032,071	3,253,297	778,774
小ホール	86	101	△ 15	3,350	3,178	172	1,155,809	1,135,083	20,726
会議室1	86	113	△ 27	2,110	11,432	△ 9,322	809,967	949,171	△ 139,204
会議室2	97	176	△ 79	2,713	14,053	△ 11,340	973,380	1,980,932	△ 1,007,552
和室1	31	19	12	221	146	75	138,335	80,010	58,325
和室2	31	142	△ 111	490	319	171	118,390	727,065	△ 608,675
応接室	46	36	10	270	165	105	115,820	96,470	19,350
合計	473	661	△ 188	22,829	39,584	△ 16,755	7,343,772	8,222,028	△ 878,256

令和4年度プラタナスホール月別催し物開催数

(単位:回)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
会議、大会、講演会ほか	2	2	4	2	1	3	5	2	3	1		3	28	23
発表会 (吹奏楽、合唱ほか)	2	2	2	3	5	1	5	8	3		1	2	34	12
コンクール (吹奏楽、合唱ほか)													0	0
コンサート (歌謡、ポップス、演歌ほか)									2				2	5
コンサート (クラシック)													0	3
伝統芸能、古典、舞踏ほか			1		2							2	5	1
演劇、ショー、映画			1							1			2	3
練習	1	3		9	3		1				3		20	22
その他			1			1	1	2					5	5
合計	5	7	9	14	11	5	12	12	8	2	4	7	96	74
開館日数(日)	26	26	26	27	26	26	27	25	24	24	24	28	309	320
休館日(日)	4	5	4	4	5	4	4	5	7	7	4	3	56	45
工事等(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36
稼働日数(日)	5	7	9	13	11	5	10	11	8	2	4	7	92	69
稼働率	19%	27%	35%	48%	42%	19%	37%	44%	33%	8%	17%	25%	30%	22%

大社文化プレイスうらら館

令和4年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

	利用回数（回）			利用人数（人）			利用料金（円）		
	R4年度	R3年度	比較	R4年度	R3年度	比較	R4年度	R3年度	比較
だんだんホール	143	103	40	30,235	13,983	16,252	10,844,583	6,993,993	3,850,590
楽屋	391	257	134				809,908	494,965	314,943
ごえんホール	144	133	11	6,894	5,789	1,105	3,828,059	3,449,619	378,440
第1会議室	126	112	14	823	2,009	△ 1,186	619,901	552,974	66,927
第2会議室	92	93	△ 1	232	173	59	453,539	514,953	△ 61,414
第3会議室	75	59	16	579	324	255	612,822	495,737	117,085
だんだんテラス	1	0	1	50	0	50	1,750	0	1,750
合 計	972	757	215	38,813	22,278	16,535	17,170,562	12,502,241	4,668,321

* 第1会議室、第2会議室を同時に利用された場合の利用人数は、第1会議室に計上しています。

令和4年度だんだんホール月別催し物開催数

(単位=回)

区分	月													合計	前年度
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
会議、大会、講演会 他	3	1	2	1	2	1	5	4	4	2	3	2	30	21	
発表会 (吹奏楽、合唱他)	2	1	2	1	3	2	2	8	13	2	2	3	41	22	
コンクール (吹奏楽、合唱他)													0	0	
コンサート (歌謡、ポップス、演歌他)		2			1		1	2	1			1	8	1	
コンサート (クラシック)				3				3	1	1			8	13	
伝統芸能、古典、舞踏他		1		1				2		1			5	3	
演劇、ショー、映画			1			6	1			1		2	11	3	
作品展示													0	0	
練習	1	1		11	9		5		5	1	5	1	39	40	
その他							1						1	0	
合 計	6	6	5	17	15	9	17	17	24	8	10	9	143	103	
開館日数(日)	26	26	26	27	26	26	26	26	24	24	24	27	308	308	
休館日(日)	4	5	4	4	5	4	5	4	7	7	4	4	57	57	
工事等(日)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
稼働日数(日)	6	5	5	16	15	9	15	14	21	8	10	9	133	91	
稼働率	23%	19%	19%	59%	58%	35%	58%	54%	88%	33%	42%	33%	43%	30%	

出雲文化伝承館

令和4年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

	利用回数(回)			利用人数(人)			利用料金(円)			
	R4年度	R3年度	比較	R4年度	R3年度	比較	R4年度	R3年度	比較	
出雲屋敷	20	17	3	686	1,823	△ 1,137	227,157	499,766	△ 272,609	
出雲流庭園	197	217	△ 20	1,588	1,790	△ 202	507,910	552,931	△ 45,021	
松籟亭	24	32	△ 8	746	482	264	207,951	346,808	△ 138,857	
独楽庵	1	0	1	5	0	5	3,560	0	3,560	
本館展示室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
文化工房	陶芸窯	41	41	0	429	393	36	156,160	148,840	7,320
	実習室	66	62	4	724	470	254	157,085	115,548	41,537
縁結び交流館	632	493	139	16,214	10,322	5,892	4,152,503	2,730,726	1,421,777	
合計	981	862	119	20,392	15,280	5,112	5,412,326	4,394,619	1,017,707	

主な施設貸出例	
出雲屋敷	出雲流庭園勉強会・早春の茶会ほか
出雲流庭園	婚礼、成人式、七五三など写真撮影
松籟亭	茶道ほか
文化工房	書道、学習会ほか
縁結び交流館	作品展覧会、ダンス、吹奏楽練習、研修会、講演会、発表会、着物展示会、会議ほか

平田本陣記念館

令和4年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

	利用回数(回)			利用人数(人)			利用料金(円)		
	R4年度	R3年度	比較	R4年度	R3年度	比較	R4年度	R3年度	比較
本館	175	170	5	1,360	1,190	170	5,600	29,520	△ 23,920
展示館	7	5	2	1,718	310	1,408	160,109	62,448	97,661
茶室	11	10	1	64	58	6	32,376	33,440	△ 1,064
設備器具貸出のみ			0			0	41,400	37,375	4,025
合計	193	185	8	3,142	1,558	1,584	239,485	162,783	76,702

主な施設貸出	
本館	婚礼前撮り、各種イベント等
展示館	アートフェスティバル、造形作品展
茶室	婚礼前撮り、各種イベント等
器具貸出	平田保育所、コミュニティセンター等へのパネル貸出

Ⅲ 収益事業

1. 貸館事業

収益事業に係る貸館については、営利を目的とするホールの利用や、物販等のための利用であり、その概況や施設別の状況は、Ⅱ公益目的事業 3. 貸館事業において一括して記載しています。

2. その他事業

(1) 物販事業

ア、平田本陣記念館

利用促進、来館記念のため受託物販売や図録等を販売し、売上は41,715円となりました。

イ、大社文化プレイスうらら館

貸館利用促進のため切手類を販売し、売上は130,970円となりました。

(2) 大社図書館管理事業

出雲市立大社図書館は、大社文化プレイスうらら館との合築、複合施設であることから、その施設管理について、施設・設備管理、警備等の業務の一括管理や光熱水費・損害賠償保険料などの一括支払い、消耗品の交換・補充等を受託し、費用は、面積に応じて受託費として収入に計上しております。

IV 理事会及び評議員会の開催状況

〈第37回理事会〉

開催年月日：令和4年(2022)5月11日(水)

開催場所：出雲市民会館302研修室

1. 議題

- (1)第1号議案 令和3年度(2021)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業報告の承認について
- (2)第2号議案 令和3年度(2021)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支決算(貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録)の承認について
- (3)第3号議案 令和4年度(2022)定時評議員会の開催について

2. 報告事項

- (1)評議員辞任に伴う後任の評議員の選任について
- (2)理事及び監事辞任に伴う後任の理事及び監事の選任について
- (3)財団職員体制について

〈第38回理事会〉

開催年月日：令和4年(2022)9月30日(金)

開催場所：出雲市民会館201展示室

1. 議題

- (1)第1号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団準職員等就業規則の一部を改正する規則
- (2)第2号議案 令和4年度(2022)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支補正予算(第1号)

2. 報告事項

- (1)代表理事(理事長)報告
- (2)業務執行理事(常務理事)報告

〈第39回理事会〉

開催年月日：令和5年(2023)3月1日(水)

開催場所：出雲市民会館302研修室

1. 議題

- (1)第1号議案 令和4年度(2022)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支補正予算(第2号)
- (2)第2号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団給与規則の一部を改正する規則

- (3) 第 3 号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団準職員等就業規則の一部を改正する規則
- (4) 第 4 号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団資金運用規程の一部を改正する規程
- (5) 第 5 号議案 令和 5 年度(2023)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業計画
- (6) 第 6 号議案 令和 5 年度(2023)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支予算
- (7) 第 7 号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事務局長任免の承認について
- (8) 第 8 号議案 評議員会の決議の省略について

2. 報告事項

- (1) 理事辞任に伴う後任の理事の選任について
- (2) 代表理事（理事長）報告
- (3) 業務執行理事（常務理事）報告
- (4) 令和 5 年度改良・修繕工事について
- (5) 職員の異動について

〈第 1 2 回評議員会（定時）〉

開催年月日：令和 4 年(2022) 5 月 2 7 日(水)

開催場所：出雲市民会館 3 0 2 研修室

1. 報告事項

- (1) 令和 3 年度(2021)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業報告について

2. 議題

- (1) 第 1 号議案 令和 3 年度(2021)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支決算（正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録）の承認について
- (2) 第 2 号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団評議員の選任について
- (3) 第 3 号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団理事の選任について
- (4) 第 4 号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団監事の選任について

3. 一般報告事項

- (1) 第 3 6 回理事会決議（令和 4 年 2 月 2 5 日）の報告について
 - ① 令和 3 年度(2021)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支補正予算(第 2 号)
 - ② 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団給与規則の一部を改正する規則
 - ③ 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団準職員等就業規則の一部を改正する規則
 - ④ 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団資金運用規程の一部を改正する規程
 - ⑤ 令和 4 年度(2022)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業計画

- ⑥ 令和4年度(2022)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支予算
(2) 財団職員体制について

<第13回評議員会(臨時)(書面表決)>

開催年月日：令和5年(2023)3月20日(月)

1. 議題

- (1) 議案 理事1名の選任について

V 組織図

令和4年度公益財団法人出雲市芸術文化振興財団組織図(令和4年6月1日現在)

理事会は理事13名、監事2名、評議員会は11名で構成しています。職員体制は、職員27名、音楽教育指導員2名、準職員・臨時職員等17名の計46名です。

